

# 第3期 和寒町まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版 (令和7年3月策定)

## 総合戦略の概要 (国の総合戦略、他計画との関係、計画期間など)

### 1 国の地方創生

国は、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、人口が東京圏に過度に集中しているという現状を改めるため、それぞれの地域で住みよい環境を目指し、平成26年11月「まち・ひと・しごと創生法」を制定。

令和5年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定し、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を活かした取り込みを加速化・深化することとなりました。



### 2. 和寒町総合計画との関係

「和寒町総合戦略」は町の人口動向と見通しを踏まえ、計画期間において集中的に取り組む分野・目標について、戦略として位置付けたものです。

最上位計画として位置づけられる「第6次和寒町総合計画」の方針と後期事業計画との整合性を図り、人口減少対策に重点を置いた事業を具体化し、事業効果の検証の基づき、必要な見直しを行いながら、持続可能な和寒町の形成を目指すものです。

### 3 第2期計画の検証

4つの基本目標について、全体を見ると概ね達成できる状況となっているが、一部「出生数」や「住民基本台帳人口」については、課題が残る結果となっており、人口減少は依然として深刻な課題となっていることから、第3期においても長期的な視点から、粘り強く対策を推進します。

### 4 目標設定と進捗管理

和寒町総合戦略では、政策分野ごとに基本目標を設定するとともに、具体的な施策については、客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定します。

また、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略の見直しを行います。

※KPI：Key Performance Indicator の略 目標度合いを計る数値目標

### 5 和寒町のまち・ひと・しごと創生総合戦略 計画の期間

2025（令和7）年度から2029（令和11）年度までの5年間

本町の現状と課題と将来目標人口

1 現状と課題

- (1) 自然動態 (出生・死亡)
  - ① 出生数は減少傾向、死亡数は横ばい傾向
  - ② 昭和 62 年以降、出生数より死亡数が上回る自然減が続く
- (2) 社会動態 (転入・転出)
  - ① 転出数が転入数を上回る転出超過の状況が続く
  - ② 転入は、男性は 20～24 歳、女性は 30～34 歳が多い
  - ③ 転出は、男女とも 15～34 歳の年齢が多い

2 対策及び戦略

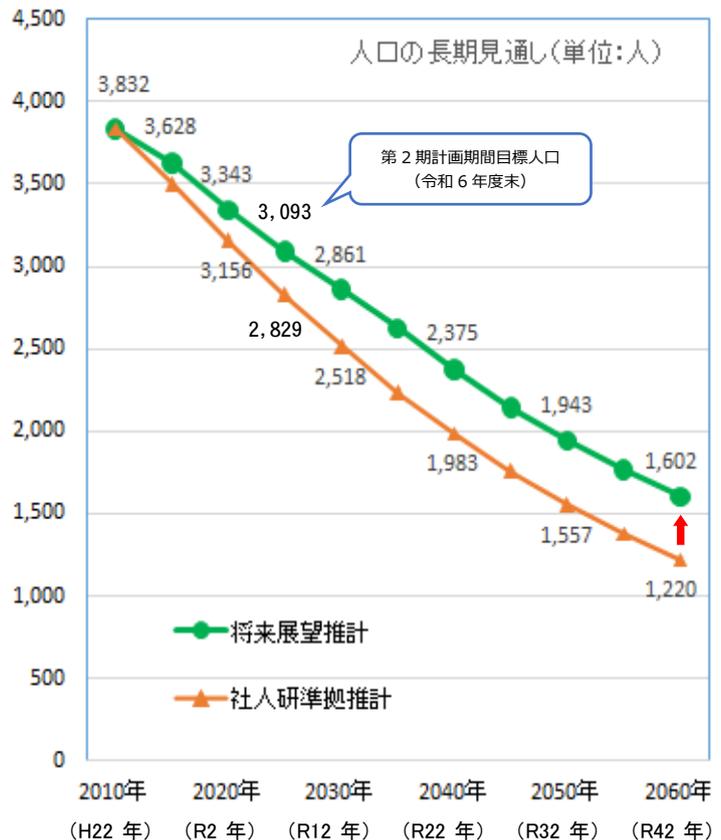
- (1) 総合戦略の実行
  - 基本目標の実行
  - 横断的施策の展開
- (2) 戦略の目標
  - 出生率の向上
  - 社会減の抑制 等

3 将来目標人口

平成 28 年 1 月策定の和寒町人口ビジョンに基づき、2060 年には人口 1,600 人を目指します。

【目標人口】  
2060 年 1,600 人

【平成 28 年 1 月策定 和寒町人口ビジョンより】



## 基本目標1：産業の振興により安定した雇用と活気をつくる

【基本指標】 農業経営体数：160 経営体（R11）

### 【基本的方向】

基幹産業である農業の振興や、地域の優位性でもある豊かな自然と観光資源を活かした産業振興を図り、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある仕事を創出し、安定した雇用を確保します。



具体的な施策	主な事業	成果目標（KPI）
(1) 農業の振興と担い手の育成・確保	・農業の担い手に対する支援 ・農業体験や農業研修機会の提供、相談体制の充実 など	・新規就農者数 5年間で6人
(2) 林業の振興と担い手の育成・確保	・林業事業体、林業従事者の育成確保と技術向上 ・林業への理解や親しみを促す機会の提供 など	・林業従事者数 6人（R11）
(3) 商工業の活性化と起業支援	・商工業の担い手の確保に対する支援 ・起業に対する支援 など	・新規開業事業者数 5年間で5件
(4) 特産品のブランド化、販売促進	・特産品のブランド化、販路拡大の取り組みに対する支援 ・農畜産物の付加価値を高める取り組みへの支援 など	・特産品関連新商品開発件数 45種類（R11）

## 基本目標2：地域の魅力を発信し、交流・滞在・移住の流れをつくる

【基本指標】 年間観光入込客数：55,000人（R11）

### 【基本的方向】

広大な自然や豊かな農産物など、本町の優れた地域資源を町内外に広く発信し、観光客など交流人口の増加を図るとともに、移住定住を促進し、新しいひとの流れを創出します。

また、広域連携事業等を通じて、近隣市町村等との連携を深めていきます。



具体的な施策	主な事業	成果目標（KPI）
(1) 和寒らしさの積極的な情報発信	・ホームページや SNS（フェイスブック等）を活用した情報を発信 ・地域情報や移住相談窓口体制を充実 など	・SNS 動画等の閲覧数 5年間で500,000件 ・LINE ともだち登録数 1,000件（R11）
(2) 地域の特性を活かした観光施設の整備とイベント支援	・道北（天塩の国）の玄関口「塩狩峠」を活かした新たな観光振興の展開 ・広域連携による観光の推進 など	・観光客入込客数 5年間で230,000人
(3) 移住定住事業の推進	・お試し暮らしのサポート ・住まいの確保と改修への支援 など	・移住体験、移住相談者数 5年間で50人 ・地域おこし協力隊採用者数 5年間で10人
(4) 交流ネットワークの拡大	・ふるさと会との連携の強化 ・(学)北海道教育学園三和高等学校連携支援事業 など	・ふるさと納税件数 5年間で12,000件
(5) 連携による持続可能な地域の創造	・国、道、市町村との連携 ・官民連携、大学など教育機関との連携 など	・新規連携事業数 5年間で20件 ・PR イベント実施件数 5年間で50件

### 基本目標 3 : 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境をつくる



【基本指標】 出生数：5年間で55人 婚姻数：5年間で25組

#### 【基本的方向】

若い世代の「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を行い、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに取り組みます。

具体的な施策	主な事業	成果目標 (KPI)
(1) 出会いと結婚の応援	・独身男女の出会いの場の創出	・イベント開催数 5年間で5回
(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援	・母子保健医療の充実 ・子育て世帯の経済的負担軽減施策の推進 など	・出生数 5年間で55人 ・子育てサロン利用者延べ人数 5年間で5,000人 ・保育ICTアプリの使用満足度 80% (R11)
(3) 次世代を担う子どもの教育の充実	・学習環境整備ときめ細やかな学習サポートの充実 ・近隣市町村との連携によるスポーツ、文化研修機会の提供 など	・中学生の海外研修参加者数 5年間で100名 ・スポーツ、文化団体等加入率の維持 80% (R11)

### 基本目標 4 : 安全で安心して住みつけられるまちをつくる

【基本指標】 住民基本台帳人口 : 2,500人 (令和11年度末)

#### 【基本的方向】

職業や年齢に関わらず、誰もが安全で安心して住みつけられるまちづくりを進めるとともに、職業や立場を問わず、町内の様々な世代が交流し、人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを推進します。

具体的な施策	主な事業	成果目標 (KPI)
(1) 地域コミュニティの活性化	・自治会活動の維持と世代間交流の充実	・防災に関する訓練、研修会の開催 5年間で延べ12自治会
(2) 高齢者が元気なまちづくり 	・高齢者の集い、憩いの場の整備強化 ・高齢者世代の技術の活用、就労支援 ・介護予防、総合相談体制の充実	・なごやかサロン開催箇所数 5箇所 (R11) ・学び舎みかさやま講座参加数 5年間で750人 ・65歳以上の要介護認定率の抑制 17.1% (R11)
(3) 安全安心で快適な暮らしへの支援 (デジタル活用)	・地域公共交通の維持と買い物等の交通確保 ・生活環境の整備 ・安全で安心な暮らしの確保 ・行政オンライン化の推進	・おでかけハイク-利用回数 5年間で17,000回 ・オンライン化対応手続き数 150業務 (R11) など

### 重点戦略 (分野横断的な施策)

#### 【基本的方向】

目標実現のため、特に力を入れる必要がある2つの施策を重点戦略と位置づけ、横断的な施策として推進していきます。

(1) ふくしのまちづくり	「ふくしのまちづくり基本構想」の基本理念「共愉するまちを創造する」ため、誰もが安心して住み続けることができるまちの実現を目指し、住民とともに各種施策を展開していく。
(2) SDGsの達成に向けた施策の推進	SDGs (持続可能な開発目標) は、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能でより良い世界を目指す17の国際目標で、日本も取り組むことを表明したことから横断的に展開していく。